
好きなんです。

紅月 むう

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

好きなんです。

【著者名】

NZマーク

N3664M

【作者名】

紅月 むう

【あらすじ】

意味不明なものですね（）

(前書き)

自分で読んでも意味不明・・・。

『好き。』

こんなに人を好きになつたの初めてです。
君に逢う前のあたしは何も知らなかつた。
『恋』というものがどんなに苦しいものか。
でも苦しきても生きている限りあたしたちは恋をしつづける。

たとえ、叶わぬ恋だとしても。

「空 おはよーっ！」
「…はよ。」
「眠そーっ！… あはは」

沖田 空。

とにかくつるさい奴。

どこのクラスにもいるでしょ？ 調子こじてるやつ。その分類には

いる。

でもそういう奴に限つてモテる。そしてつるさい女子ども（そういう人たちも絶対クラスにいるつしょ？）は空にたかる。

今日だつてそうだ。うちのクラスの女子どもがたかつてゐる。
…あたしだつてしまへりたい。けど、話題ないし、変なこと言つて

何こいつみたいに思われたくない。だからまともにしゃべったことがない。

好きになつたきっかけは単純。去年、中学の入学式のときのこと。

「君、高城小？」

つていきなり後ろから話しかけられた。高城小出身じゃないあたしはとつさに首を振つた。

それだけだ。その時は何も思わなかつた。時間が経つと気になるようになつた。1年のときも違うクラスだつたからあまり会わなかつたけど、見つけると田で追つてしまつようになつて…。

いつかわからない。気づいたら『気になる』から『好き』に変わつていた。

好きになつてから1年と3ヶ月以上。

あたしの最高記録だ。昔のあたしはすぐ好きな人が変わつた。

今思うと『好き』なんかじゃなくただ『かつこいい』って思つただけだと思ひ。

だつて夜、会いたくなつて胸が苦しくなることなんて一度もなかつたから。

あたしの好きなこと。君を見ること。それだけで幸せ。それだけでいい。

ずっとそう言い続けてきた。でもそれは自分に言い聞かせていただけかもしれない。嫌われることを恐れて前に進めない自分に言い訳をしていたのかもしれない。

だから、あたしは何も言えない。こんなあたしには何も言つ権利はない。

「お幸せに！」

「こつまでもラブラブでいてね！－！」

放課後。教室に忍び込んで空の机を見てしまった。

「今日、彼女としゃべったあ！？」

「うん。」

空が仲のいい友達と話してゐのを聞いてしまった。

別に彼女がいてもいい。空がそれで幸せなら。これもずっと言い続けてきたこと。

だけど、本当にこうなると違う。空とあの子のことを離ると胸が張り裂けそうになる。

それと空の邪魔にはなりたくないって思つた。だから、この頃はあまり見ないように頑張つている。

この前まではすつじいガン見してて、空と田が合ひ合うかしづつて、こんなに毎日見てるんだからあたしが好きつてこと、本人にばれてるだろうな。別に本人にならばれてもいいや。

つて思つてた。でも、今になつてわかる」と。迷惑だつただらうな。
ウザかつただらうな。

だからあたしは辛くてもいい。君が幸せなら…つて心から思ひ。

それには、意識しないよひにしてたら好きかどうかわからなくなつ
てきた。

もしかしたら、ただ仲良くなりたかつただけかもしれない。

わからない。わからない。わからない。

あの人のどこがいいかさえ、わからなくなつた。

今日は一度も見なかつた。だけど、何とも思わなかつた。

今日は帰りに見れた。嬉しかつた。

好きか。好きじゃないか。

『ペンかしてー!?』

びっくりした。突然話しかけられたから。
とっさに握っていたシャーペンを差し出す。

「書けねーじゃん。」

…手に書きたかったらしい。ボールペンを差し出す。

『国語のファイル』

空は手にそつ書いた。忘れたのかな?

『ありがとう。』

その一言が嬉しかった。

好きだ。あたし、空のこと好きだ。

忘れていた気持ちが蘇つてくれる。

空が話しかけてくれた。
嬉しい。すごく嬉しい。

たとえ振り向いてくれる「」ことがなくとも、あたしは空の「」が好きだ。

たとえ彼女が「」と、あたしは空の「」が好きだ。

だつて好きになっちゃったんだから、しょうがないじゃん。
叶わぬ苦しこ恋だとしても、この気持ちを忘れる「」なんてできな
いから。

あたしは..

「」、意地悪で、ばかで、かっこいい空が大好きです。

(後書き)

何を書きたいのかわからなくなつたorz

今後に期待しないでくださいwww

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3664m/>

好きなんです。

2010年10月28日06時37分発行